

# 適正計量管理事業所の 制度活用事例集

安心と信頼を築くために



## 目次

- 01 計量から生まれる信頼と未来。  
いま、北海道の信頼される企業として。
- 02 適正計量管理事業所とは何か  
適正計量管理事務所のメリット
- 03 本書の見方  
用語解説
- 04 事例紹介
  - 04 生活協同組合 コープさっぽろ
  - 06 ホクレン農業協同組合連合会 てん菜事業本部
  - 08 北海道糖業(株)
  - 10 (株)荏原製作所 富津工場
  - 12 キッコーマン食品(株) 野田工場 製造管理部
  - 14 JFEエンジニアリング(株) 鶴見製作所
  - 16 日本グリース(株) 横浜工場
  - 18 (株)日立製作所 情報・通信システム社  
通信ネットワーク事業部 戸塚事業所
  - 20 富士フイルム(株) 光学デバイス事業部
  - 22 三菱重工業(株) 横浜製作所
- 24 適正計量管理事業所の指定の概要

## 計量から生まれる信頼と未来。 いま、北海道の信頼される企業として。

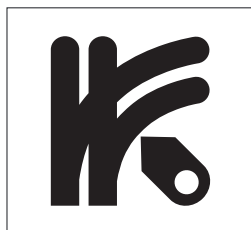
私たちが産業経済・学術・文化・国民生活などを充実・発展させ、その成果をしっかり活用していくためには、「正しい計量を実施されるための信頼されるシステム」(計量制度)が必要不可欠です。たとえば、スーパーで売られている商品の内容量や水道・ガスの使用量など、これらはすべて計量というルールの上に成り立っています。

「食の安全」はもちろん、すべての商品に対して消費者の目が大変厳しいものになっている今、向上する消費者意識にしっかり応えていくことが、商品を提供する企業にとって大きな使命であることは言うまでもありません。

急速な技術革新や安全・安心に対する関心の高まりの中で、皆様の業務がより信頼を勝ち得ていかれるために、今、あらためて計量の持つ意味と重要性・価値を認識してみませんか。確かな信頼の積み重ねは、きっと大きな未来を築くはずです。そして、それは北海道の商品・企業を自信を持って世界に発信することに繋がり、北海道を元気にする大きな力になっていくことでしょう。

## 適正計量管理事業所とは

市場の自由化、世界的な商品流通の活発化を背景に、質のよい商品を製造し信用のある取引を推進していくためには、販売している商品や使用中の計量器の日常管理等を正しく行うという適正な計量管理が重要です。その中でも計量法で規定する特定計量器（はかり等）を使用する事業所で、計量士の検査と指導のもとに、自主的な適正計量管理が進められていると知事が認め指定した事業者を「適正計量管理事業所」といいます。〈根拠法令～計量法第127条〉



適正計量管理事業所に指定されますと、事業所にこのマークを掲げることができます。

## 適正計量管理事業所のメリット

### 信頼度の向上

適正計量管理事業所の指定を受けることは、自主的な計量管理に対する努力が公に保証されることとなります。そのため、社会的にも信用上大きなプラスとなります。

### マーク掲出によるPR

指定されたことの証明である指定標識を店・事業所に掲出することにより、力強い無言のアピールになります。

### 定期検査の免除

取引または証明に使用している特定計量器の検査を「計量管理規程」に基づいて自主的に行うことで、公的機関が行う定期検査が免除されます。

### 簡易修理の実施

当該事業所で使用する特定計量器に限り、省令で定める範囲の修理（簡易修理）を行うことができます。

点を置

いた試験・校正機関向けにつくられた規格。  
ISO/IEC17025は「校正値と不確かさ」を提供する校正を目的として  
いる。

● **産業技術総合研究所 (略称:産総研)**

日本の産業を支える環境・エネルギー、ライフサイエンス、情報通信・エレクトロニクス、ナノテクノロジー・材料・製造、標準・計測・地質という多様な5分野の研究を行う我が国最大級の公的研究機関。